

知床の窓から見えるもの

2026.9.30

「秋の日は釣瓶落とし」

皆さんこんにちは。

9月も終わりにになり、すっかり秋の雰囲気になってきました。

「秋の日は釣瓶落とし」という言葉があるように、最近急に日没が早くなったように感じます。実際に調べてみたところ、9月1日の羅臼の日の入り時刻は17時56分に対して、9月30日には17時03分まで早まるそうです。これは1年の中でも一番変動が大きい月で、数字で見てもことわざの通りであることがわかります（ちなみに年間で2番目に変動が大きいのも10月でやはり秋でした）。

天気も秋らしく、気温・湿度ともに下がってきました。空気が澄んで羅臼岳が大変きれいに見える日もありました。雪のない時期にこのように稜線がはっきり見えるのは少し新鮮に感じます。



この時期は昼夜の寒暖差が大きい時期でもあります。日によっては1日に10℃～15℃くらい温度差があり、1日の中で季節が変わるかのような変化です。着ていく服装に難しく困る時期ですね。

何かと変化の大きい季節ですが、体調に気をつけてお過ごしください。

